

3 遺伝子組換え生物等の使用等に関する情報

この組換えイネは、良食味品種にいもち病及び白葉枯病抵抗性が付与されており、その結果として減農薬栽培の実現や環境負荷低減による稲作の低コスト・高品質化を目指すものである。

本申請はこの組換えイネの実用化を目指しており、良食味で複合病病害抵抗性を示す育種母本としての利用を予定している。隔離ほ場試験では目的形質の安定した発現と一般ほ場に出すために必要となるデータの集積を行う。

(1) 使用等の内容

隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為

(2) 使用等の方法

所在地：新潟県上越市稲田1の2の1

名称：中央農業総合研究センター北陸研究センター隔離ほ場

使用期間：承認日～平成18年10月31日

イ 隔離ほ場の施設

- (1)部外者の立入を防止するための高さ1.8メートルの金網フェンスをほ場の周囲に張り巡らせている。
- (2)部外者は立入禁止であること及び管理責任者名を記載した隔離ほ場の標識を、出入り口の見やすい所に掲げている。
- (3)使用した機械、器具、靴などに付着した組換えイネの種子などを洗浄するための洗場を設置している。
- (4)田植え期から収穫期にわたる期間で防雀網を設置するなどの野生動物の摂食を防止する措置を執る。
- (5)部外者の立入防止を徹底するために施錠管理し、フィールドサーバー（ほ場観察装置）を設置する。

ロ 隔離ほ場の作業要領

- (1)組換えイネとその対照イネ以外の植物の生育を最小限に抑える。
- (2)組換えイネを隔離ほ場の外に保管、運搬する場合には密封容器を用い、組換えイネの漏出を防止する。
- (3)(2)以外では栽培終了後、組換えイネの植物体は隔離ほ場内で裁断し鋤込むことによって、隔離ほ場内で不活化する。穀粒は密封容器で分別管理する。
- (4)使用した機械、器具等に付着した組換えイネは、隔離ほ場内の作業スペースで洗浄し、外に持ち出されないように防止する。排水系統には沈殿槽と網を